

令和4年度いしかわ耕稼塾「オープンセミナー」の開催について

1 趣旨

「いしかわ耕稼塾」では、農業者の経営発展をはじめ、新規就農希望者の基礎研修、平日の夜間に県立図書館で農業を気軽に学ぶための入門講座、消費者の方々に農業の大切さを知っていただくための体験会など様々なカリキュラムを実施しています。

今回は、一般県民や就農希望者の方々を対象に、農林水産業の今についてもっと知り、関心をもっていただくためのセミナーを開催します。

2 主催 (公財)いしかわ農業総合支援機構、石川県

3 日程 令和5年1月21日(土)～2月11日(土) 午後2時～4時(全4回)

4 場所 石川県立図書館文化交流エリア2階 研修室(金沢市小立野2丁目43番1号)
(Zoomによるオンラインでの参加もできます)

5 詳細日程

日にち	テーマ	講師
1/21 (土)	究極の地酒造りを目指して ～弊社を取り巻く農林産業との向き合い方～	合同会社西出酒造 代表社員兼社氏 西出 裕恒 氏
1/28 (土)	中山間地区での農業と発達障害	株式会社金沢ちはらファーム 代表取締役社長 前田 泰一 氏
2/4 (土)	七尾湾のブランド食材 「能登とり貝」について	能登とり貝生産組合 事務局長 藤田 寿代 氏
2/11 (土)	珠洲の野菜を全国へ届けたい 挑戦する若手たばこ農家	浦野農園 代表 浦野 博充 氏

※・新型コロナウイルスの発生状況や気象災害などにより、内容の変更または中止する場合があります。

・現地参加の際は、原則マスクの着用をお願いします。

6 申込締切 令和5年1月17日(火)まで
参加無料、会場定員各70名
ご希望の回のみ参加も可能

7 申込・問合せ先 (公財)いしかわ農業総合支援機構(金沢市鞍月2-20) 担当:宮尾、川上、北川
TEL 076-225-7621 FAX 076-225-7622 URL <https://inz.or.jp>

参加費無料 | 定員各70名



いしかわ耕稼塾 オープンセミナー

いしかわの農林水産業の いまがわかる!

今回募集する「いしかわ耕稼塾 オープンセミナー」は、今年度新たにオープンした石川県立図書館で、県民の皆様やこれから就農を希望する方に向けて、石川県の農林水産業の今について、関心をもっていただくことを目的に開催するものです。農林水産業と関わらない方にも分かりやすく、お話しさせていただきますので、お気軽にご参加下さい。

各回、アンケートに
回答いただいた方
の中から抽選で
農産物加工品
プレゼント!

- 日時** 令和5年 1月21日▶2月11日までの土曜日 **全4回** 14:00~16:00 【受付13:30~】
- 実施方法及び会場** 石川県立図書館文化交流エリア2階 研修室 (金沢市小立野2丁目43番1号) 【Zoomによるオンライン参加も可能】
- 募集期間** 令和5年1月17日(火)まで (会場参加については定員70名に達し次第募集を終了)
- 申込方法** 事前申込制 受講希望の講座を選択のうえ、WEBから申込または受講申込書(裏面)に必要事項を記入のうえ、FAXでお申し込みください。



WEBからの
お申し込みはこちら

オンライン講座 受講条件と 受講の流れ

- 受講者個人での視聴に限定します。受講者以外(第三者)の方へのZoomのID・パスワードの提供はできません。
- 申込が完了し受講者登録が完了すると、「受講登録完了のお知らせ」案内メールを登録後数日以内に送付いたします。
- Zoom接続の招待メール及び資料は開催日前日までに送付いたします。
- 無断で資料複製や電子データ化及び講義内容の録音・録画をしないでください。

回	日	受講方法	テーマ	講師
第1回	1/21 (土)	(オンラインによる参加も可能) 会場にて受講	究極の地酒造りを目指して ~弊社を取り巻く農林産業との向き合い方~	合同会社西出酒造 代表社員 兼 社氏 西出 裕恒氏
第2回	1/28 (土)		中山間地区での農業と発達障害	株式会社金沢ちはらファーム 代表取締役 前田 泰一氏
第3回	2/4 (土)		七尾湾のブランド食材 「能登とり貝」について	能登とり貝生産組合 事務局長 藤田 寿代氏
第4回	2/11 (土)		珠洲の野菜を全国へ届けたい 挑戦する若手たばこ農家	浦野農園 代表 浦野 博充氏

注:都合により内容は変更される場合があります。

事前予約制

就農相談 窓口開設

(オンライン受講可)

注意事項

- 受講の際は、感染防止対策の徹底のため、検温やマスク着用等へのご協力をお願いします。
- 新型コロナウイルスの発生状況や気象災害などにより、内容の変更または中止する場合があります。

問い合わせ先

(公財)いしかわ農業総合支援機構
(担当:宮尾・川上・北川)

〒920-8203 金沢市鞍月2-20 地場産業振興センター4F
TEL:076-225-7621 FAX:076-225-7622 E-mail:info@inz.or.jp

主催:(公財)いしかわ農業総合支援機構、石川県

講師プロフィール

第1回

合同会社西出酒造

代表社員 兼 杜氏

西出 裕恒 氏



テーマ

究極の地酒造りを目指して
～弊社を取り巻く農林産業との向き合い方～

大正2年創業。吟醸酒ブームや山廃（やまはい）仕込み復活の立役者としても有名な「現代の名工」農口尚彦氏の元で5年間蔵人修行を積んだ。過去にはリング酸酵母を使ったワイン風味の日本酒を開発するなど、若年層をターゲットにした新しいジャンルへの意欲的な挑戦を行った。代表銘柄となる「春心」は自然との共生をテーマに、昔ながらの製法で作る生酛（きもと）造り、酵母無添加、地元でとれた有機米を使用。県産材の木桶を使った仕込みもやっている。

第2回

株式会社金沢ちはらファーム

代表取締役社長

前田 泰一 氏



テーマ

中山間地区での農業と発達障害

金沢ちはらファームは、「NPO法人アスペの会石川」と、発達障害の子どもをもつ親たちの出資により、2012年4月に設立。人手不足等で耕作放棄地となった中山間地域の農地を借り受け、発達障害者のための就農支援と地域活性化を目的に、ブルーベリー（ポット1,200鉢）などの栽培や加工品の製造・販売に取り組んでいる。従業員の2名のほか、発達障害者1名を雇用し、自立を支援するとともに、当事者だけでなくそのご家族の社会復帰の場も提供している。

第3回

能登とり貝生産組合

事務局長

藤田 寿代 氏



テーマ

七尾湾のブランド食材
「能登とり貝」について

能登の豊かな自然に囲まれた七尾湾で手塩にかけて育てられる「能登とり貝」は、身が大きく肉厚で、上品な甘みが特徴。県水産総合センターが平成22年度から5年の歳月をかけて、稚貝の供給や育成技術を開発し、平成27年度から市場へ本格出荷されている。能登とり貝生産組合では、「能登とり貝」のさらなるブランド力向上のため、生産技術の向上や県内外へのPR活動に取り組んでいる。

第4回

浦野農園

代表

浦野 博充 氏



テーマ

珠洲の野菜を全国へ届けたい
挑戦する若手たばこ農家

珠洲市で唯一のたばこ農家。たばこを主として、お米、野菜を栽培。農業をしながら子供の世話が出来る場所の提供（農業×子育て）、規格外野菜のフードロス削減のため農caféでの提供（農業×規格外野菜）、キャンプ場、イベント会場、ちょっとしたカフェとして活用でき、珠洲での時間を楽しめるplaygroundという場づくり（農業×遊び場）など、さまざまな取組を行っている。

オープンセミナーに参加をご希望の方はWEBからの申込または下記に必要事項を記入のうえ、FAXで送付してください。

【申込締切：1月17日(火)】

FAX

076-225-7622

(この用紙のままFAXして下さい)

WEB

お申込はこちら →



氏名			ご職業	
会社名 団体名			電話番号	
住所	〒			
参加する講座 ※希望する講座にチェックを入れて下さい	会場受講	オンライン	1月21日	『究極の地酒造りを目指して ～弊社を取り巻く農林産業との向き合い方～』 (西出 裕恒 氏)
			1月28日	『中山間地区での農業と発達障害』 (前田 泰一 氏)
			2月4日	『七尾湾のブランド食材「能登とり貝」について』 (藤田 寿代 氏)
			2月11日	『珠洲の野菜を全国へ届けたい 挑戦する若手たばこ農家』 (浦野 博充 氏)
オンライン受講申込用 メールアドレス	表面の「オンライン講座 受講条件と受講の流れ」を、ご確認ください。			

※ご記入いただいた個人情報については、本セミナー実施に関する業務以外で使用しません。県または当機構が実施するセミナー等の案内をさせていただく場合があります。



公益財団法人
いしかわ農業総合支援機構
Ishikawa New Agriculture Total Support Organization

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目20番地
〔石川県地場産業振興センター新館4F〕

TEL 076-225-7621 FAX 076-225-7622